

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 1 月 9 日 (2020.1.9)

【公表番号】特表 2018-538280 (P2018-538280A)

【公表日】平成 30 年 12 月 27 日 (2018.12.27)

【年通号数】公開・登録公報 2018-050

【出願番号】特願 2018-526676 (P2018-526676)

【国際特許分類】

A 6 1 K	38/19	(2006.01)
A 6 1 P	43/00	(2006.01)
A 6 1 P	37/04	(2006.01)
A 6 1 P	37/02	(2006.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)
A 6 1 P	31/12	(2006.01)
A 6 1 P	31/04	(2006.01)
A 6 1 P	31/10	(2006.01)
A 6 1 P	31/00	(2006.01)
A 6 1 P	33/00	(2006.01)
A 6 1 K	35/17	(2015.01)
A 6 1 K	38/20	(2006.01)
A 6 1 K	45/00	(2006.01)
A 6 1 K	45/06	(2006.01)
A 6 1 K	39/00	(2006.01)
A 6 1 K	39/02	(2006.01)
A 6 1 K	39/12	(2006.01)
A 6 1 K	39/39	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	38/19	
A 6 1 P	43/00	1 2 1
A 6 1 P	37/04	
A 6 1 P	37/02	
A 6 1 P	35/00	
A 6 1 P	31/12	
A 6 1 P	31/04	
A 6 1 P	31/10	
A 6 1 P	31/00	
A 6 1 P	33/00	
A 6 1 K	35/17	Z
A 6 1 K	35/17	A
A 6 1 K	38/20	
A 6 1 K	45/00	
A 6 1 K	45/06	
A 6 1 K	39/00	Z
A 6 1 K	39/00	K
A 6 1 K	39/02	
A 6 1 K	39/12	
A 6 1 K	39/39	

【手続補正書】

【提出日】令和1年11月20日(2019.11.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

濾胞性制御性T(TFR)細胞、及びサイトカインを含む、増強された免疫活性を有する組成物であって、好ましくは

前記増強された免疫活性が、天然のTFR細胞と比較した、in vitro及びin vivoでの抗体産生の増強により特徴づけられる、または/および

前記増強された免疫活性が防御抗体応答である、または/および

前記サイトカインがIL-21又はIL-6である、組成物。

【請求項2】

低減された活性を有するTFR細胞を含む組成物を調製する方法であって、

a) TFR細胞、制御性T(Treg)前駆細胞、又はその両方を含む最初の細胞集団を得る工程；

b) サイトカインの存在下、ex vivoで前記細胞を接触させる工程；及び

c) 前記細胞集団からTFR細胞を単離する工程であって、単離されたTFR細胞は低減された免疫活性を有する、工程；

を有してなり、好ましくは

前記サイトカインがIL-21又はIL-6である、または/および

前記低減された免疫活性が、抗体産生の増強をもたらす、または/および

前記最初の細胞集団が、1又は複数の対象の末梢血、組織又は器官から単離され、

好ましくはさらに、細胞をサイトカインと接触させる前に、前記細胞集団からTFR細胞及びTreg前駆細胞をソートする工程をさらに含む、または/および

前記細胞集団を拡大する工程をさらに含む、方法。

【請求項3】

必要とする対象における免疫応答の調節に使用するための、濾胞性制御性T(TFR)細胞とサイトカインとを含む、有効量の組成物であって、好ましくは

前記サイトカインがIL-21又はIL-6である、または/および

前記TFR細胞が、前記サイトカインと一緒に又は組み合わせて投与される、または/および

前記対象に投与する前に、前記TFR細胞を前記サイトカインと接触させる、または/および

前記TFR細胞が、対象の末梢血から単離されたものである、または/および

TFR細胞の調節が、増強された抗体産生をもたらす、

好ましくはさらに、ワクチンの使用を含む、または/および

TFH細胞を含む組成物、及びワクチンを共投与することを含む、または/および

前記組成物が静脈内投与される、組成物。

【請求項4】

前記対象が、ウイルス感染、細菌感染、病原性感染、真菌感染、及びがんからなる群より選択される疾患又は状態を患っている、請求項3に記載の組成物。

【請求項5】

増強された免疫活性を有する、TFH細胞及びサイトカインの組成物を含むアジュバントであって、好ましくは

前記サイトカインがIL-21又はIL-6である、または/および

前記TFH細胞が、対象の末梢血から精製されたものであり、

好ましくはさらに、対象の末梢血から精製されたTFH細胞、増強された刺激能を有す

る T F H 細胞、又はそれらの任意の組合せをさらに含む、アジュバント。

【請求項 6】

対象における免疫応答のアップレギュレートに使用するための有効量の、請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項に記載の組成物又は請求項 5 に記載のアジュバント。

【請求項 7】

請求項 1 に記載の組成物又は請求項 5 に記載のアジュバントを含む、ワクチン。

【請求項 8】

対象における抗体産生の増強に使用するための、請求項 5 に記載のアジュバント。

【請求項 9】

対象における防御抗体応答の増加に使用するための、対象における T F R 細胞媒介抗体抑制を低減させるのに有効な量の T F R 細胞抑制を調節できる第 1 の作用物質であって、

好ましくはさらに、T F H 細胞媒介抗体産生を増加させるのに有効な量の選択的 T F H 受容体を調節できる第 2 の作用物質の使用を含み、

前記防御抗体応答が、前記第 1 又は第 2 の作用物質の不在下での防御抗体応答と比較して高められる、第 1 の作用物質。

【請求項 10】

前記第 2 の作用物質が、前記第 1 の作用物質と一緒に、組み合わせて、又はその後に投与される、請求項 9 に記載の第 1 の作用物質。

【請求項 11】

前記第 1 の作用物質がサイトカインである、請求項 9 に記載の第 1 の作用物質。

【請求項 12】

前記サイトカインが I L - 2 1 又は I L - 6 である、請求項 1 1 に記載の第 1 の作用物質。

【請求項 13】

前記第 2 の作用物質がワクチンである、請求項 1 2 に記載の第 1 の作用物質。

【請求項 14】

前記対象が、ウイルス感染、細菌感染、病原性感染、真菌感染、及びがんからなる群より選択される疾患又は状態を患っている、請求項 1 3 に記載の第 1 の作用物質。

【請求項 15】

前記防御抗体応答が、疾患の病原又は病因を低減する又は排除する、請求項 1 4 に記載の第 1 の作用物質。